

早わかり！ 題材計画の作成手順

～ 小学校 音楽 第4学年
「A表現・歌唱」を例にして～

1. 指導内容を確認しよう！

本題材で扱う学習指導要領の内容：歌唱ア・イ・ウ(イ)，[共通事項](1)

- ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。**思**
- イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。**知**
- ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。**技**

(イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能 [共通事項] (1) **思**

- ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。
- 本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」、「強弱」、「呼びかけとこたえ」

- 学習指導要領：歌唱のウでは、「技能」について(ア)～(ウ)の3つの指導事項が示されています。
- 本題材の指導のねらいに応じて、一つ以上を扱うようにしましょう。※1

※1 小学校学習指導要領 解説音楽編p.117より



- [共通事項]では、思考・判断のよりどころとなる要素を精選して設定します。

2. 題材の目標を設定しよう！ 題材名 旋律の特徴を生かして歌おう

- (1) 「とんび」の曲想と音楽の構造との関わりなどについて気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。**知技**
- (2) 「とんび」、の旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。**思**
- (3) 旋律の特徴を生かして歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら進んで歌唱の学習活動に取り組む。**態**

- 題材の目標は、育成を目指す資質・能力の3つの柱に基づいて、それぞれ設定します。

- 「題材名」は、題材で身に付けさせたい資質・能力を踏まえて、学習内容や学習活動が想起できる内容を設定しましょう。 ※単に、教材名を書くものではありません。

3. 題材の評価規準を設定しよう！

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 「とんび」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>技 思いや意図に合った音楽表現で「とんび」を歌うために必要な、呼吸に気を付けて、自然で無理のない歌い方を身に付けて歌っている。</p>	<p>思① 「とんび」の旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>思② 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりから、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「とんび」の旋律の特徴を生かして歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら進んで歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

- 表現領域では、「知識」「技能」を分けて設定します。

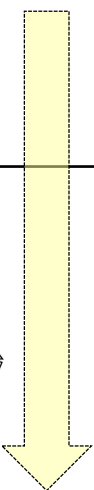

- 思考・判断のよりどころとなる要素は、題材の目標や評価規準などに共通して設定します。要素の数は、精選しましょう。

- なお、鑑賞領域では「技能」は指導しないため設定しません。 ※「知識」のみ設定します。

- 「思考・判断・表現」では、思考①「主として知覚感受について」、思考②「主として思いや意図について」に分けて設定すると、評価がしやすくなります。



4. 指導と評価の計画を作成しよう！！

題材全体の学習指導		評価の位置付け			
時	主な学習内容	評価の観点と主な評価の対象			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	<ul style="list-style-type: none"> 「とんぴ」の歌詞の表す様子や旋律の特徴を捉える。 「とんぴ」の曲の特徴を捉えて表現を工夫する。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 思 ① </div>		
2	<ul style="list-style-type: none"> 「とんぴ」の「旋律、強弱、呼びかけとこたえ」をよりどころにし、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付く。 気付いたことを生かして音楽表現を工夫し、思いや意図をもつ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 知 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 思 ② </div>		
3	<ul style="list-style-type: none"> 前時のまでの学習を生かして、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸に気を付けて、自然で無理のない歌い方を身に付けて歌う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 技 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 態 </div>

■ 記載している評価の計画は、全員の学習状況を記録に残す場面なんだね。
 ■ この例では、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を3時に位置付け、1時から3時までの状況を総括的に評価するんだね。

5. 題材の指導計画をもとに、本時の評価規準を具体化しよう

第2時：思考・判断・表現②の評価規準

- 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりから、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

具体的にした第2時：思考・判断・表現②の評価規準

- 9小節～12小節の「ピンヨロ～」の歌唱表現について、**「旋律」**の特徴（**「呼びかけとこたえ」**）から**「強弱」**を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。

「おおむね満足できる状況」と評価

- とんぴが鳴きながら近付き、その後去って行く様子を表したいから、最初の2小節は *f* で、後半の2小節は *p* で歌おう。

「努力を要する状況」と評価

- 歌詞が表す情景を意識せずに、ただ単に大きな声で歌っている。

■ 努力を要する児童には、とんぴが飛んでいる様子について、「遠くかな？近くかな？」など想像力を膨らませてあげましょう。



6. 音楽活動を通して学習を深めよう！

- 音楽科は、音楽活動を通して学習を深めていく教科です。
- 日々の授業は、「音楽発－音楽着」となるような構成で行ないましょう。

音楽発

音楽着

音楽発

- 導入
 - 合唱を行ない、前時の学習を振り返るとともに、本時のめあてから学習の見通しをもつ。
- 展開
 - 自分たちの歌声から、曲にふさわしい歌唱表現を追究する。* 言語活動と合唱活動の往還
- まとめ
 - 合唱を行ない、曲にふさわしい歌唱表現を実現できたか振り返る。

音楽着

